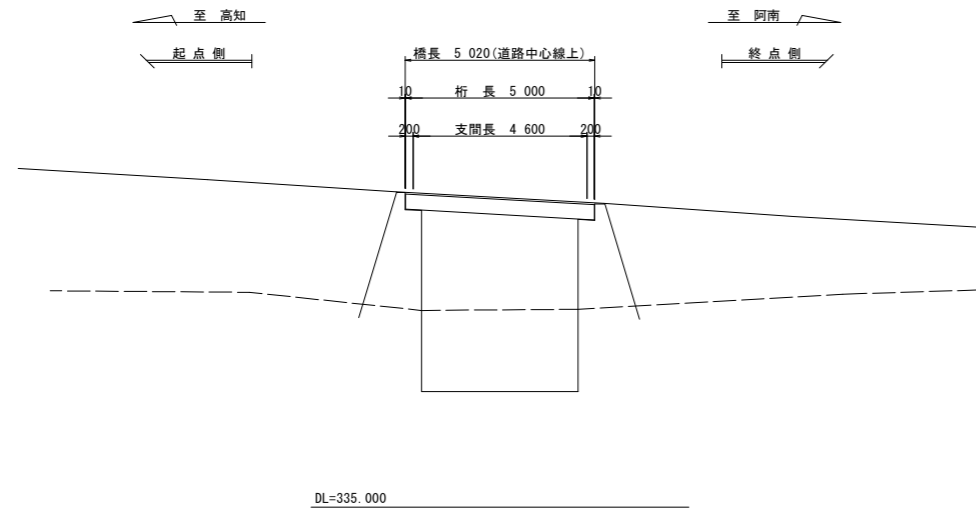
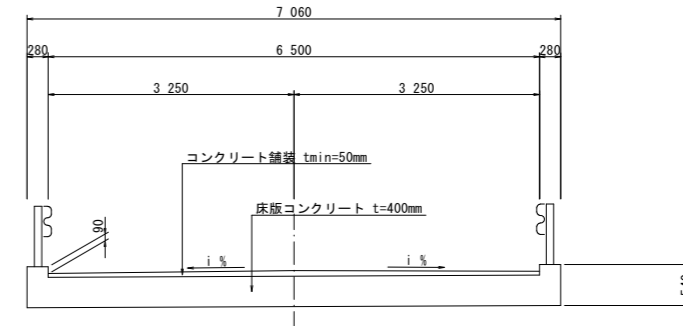


# 西谷橋 橋梁一般図

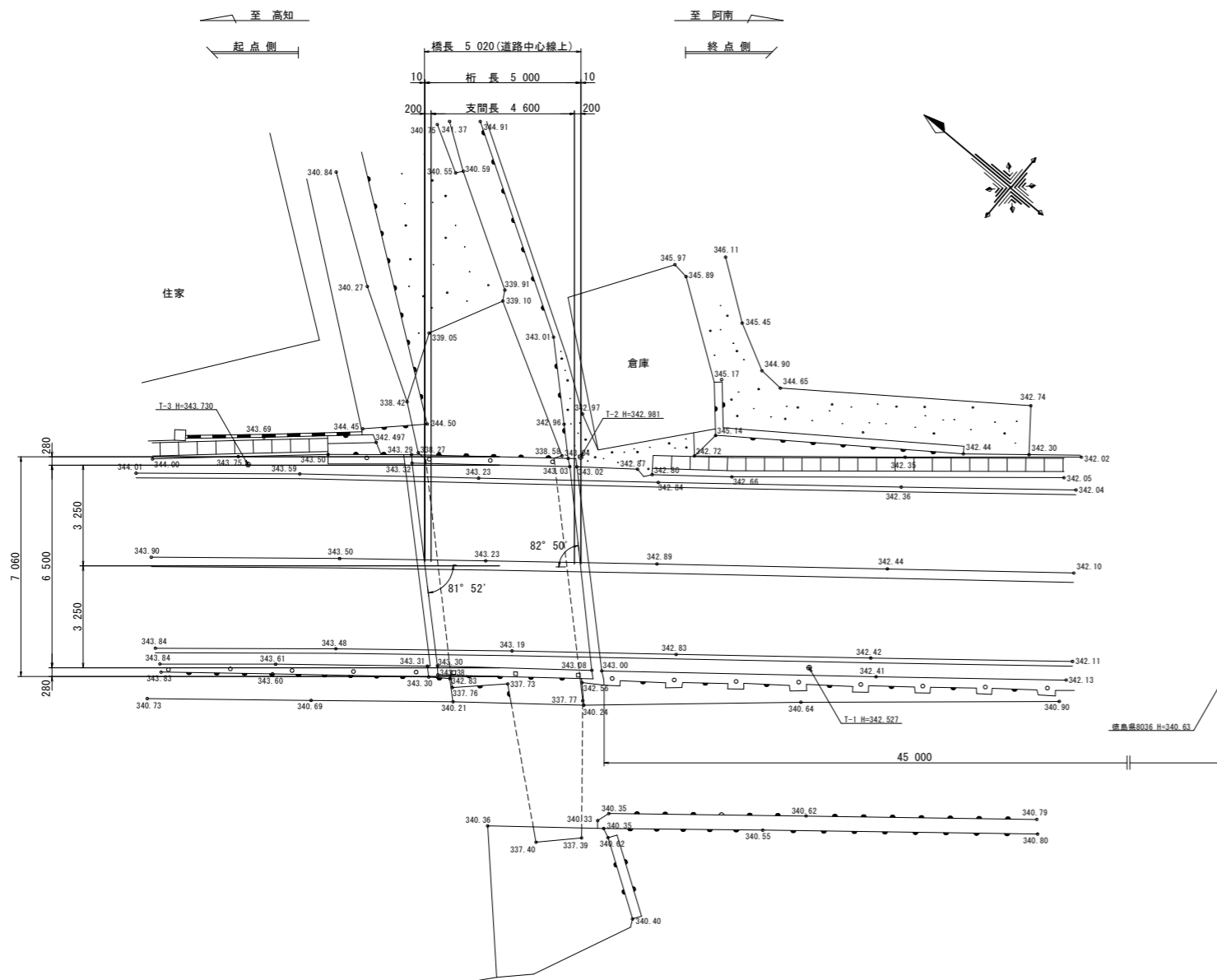
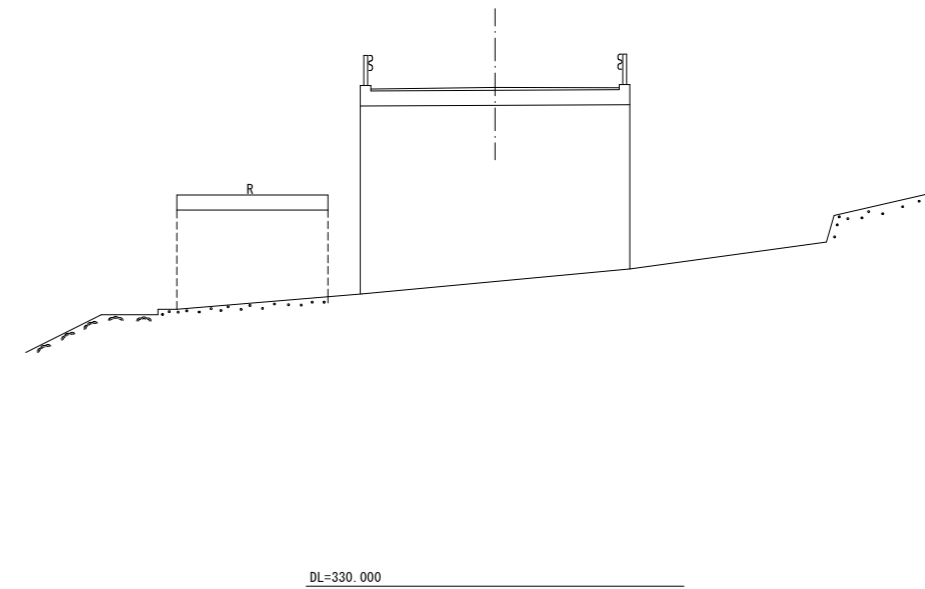
側面図 S=1:100



上部工断面図 S=1:50



横断面図 S=1:100



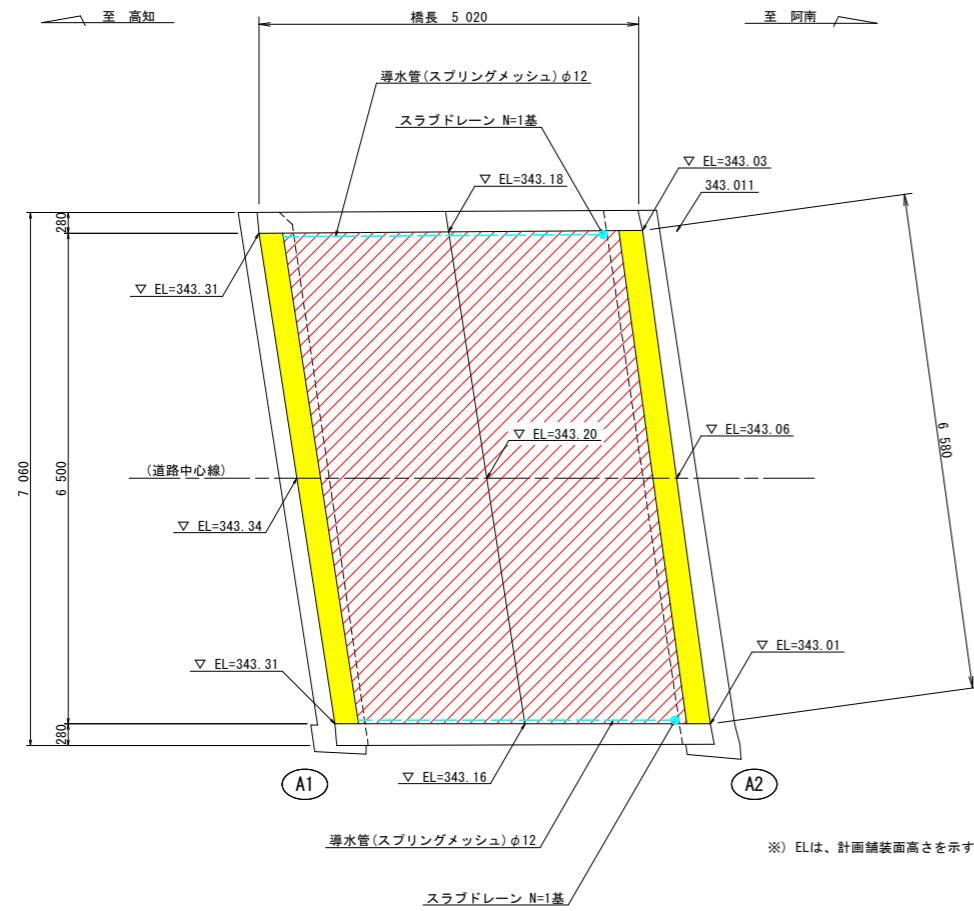
橋梁概要	
路線名	一般国道 195号
橋格	二等橋 (TL-14 昭和39年鋼道路橋設計示方書)
橋長	5.020m
幅員	6.500m (車道有効幅員)
上部工	A1-A2径間 RC床版橋
	施工年次 昭和43年度 (1968年)
下部工	橋台・橋脚 重力式橋台
	施工年次 昭和43年度 (1968年)
交差物	西谷川
添架物	水道管 (上流側)

実施設計図面  
(西谷橋)

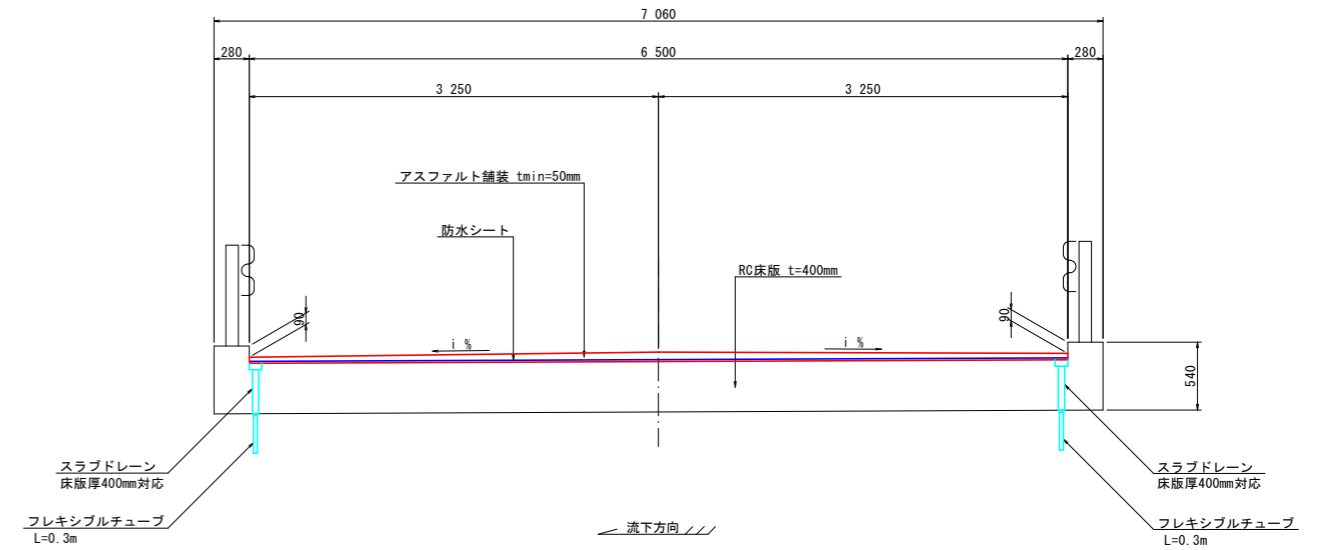
工事名	R1那土 国道195号 (西谷橋) 地2橋 那賀・木頭西宇他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
施工箇所	那賀郡那賀町木頭西宇他		
図面名	橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

# 舗装打換え・橋面防水工計画図

平面図 S=1:50

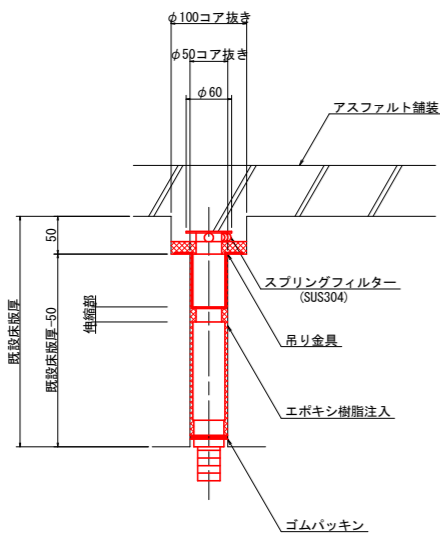


断面図 S=1:30

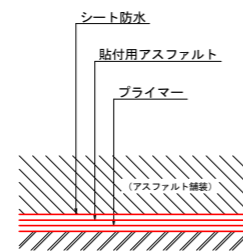


- ※ スラドレインは設置に先だって床版の鉄筋探査を行い、鉄筋に干渉しないように適宜配置位置の調整を行うこと。
- ※ 床版厚は施工時に再度測定した後、排水管やスラドレインの規格を決定すること。
- ※ スラドレインの流末処理は、現場に合わせてフレキブルチューブ等にて適宜変更すること。

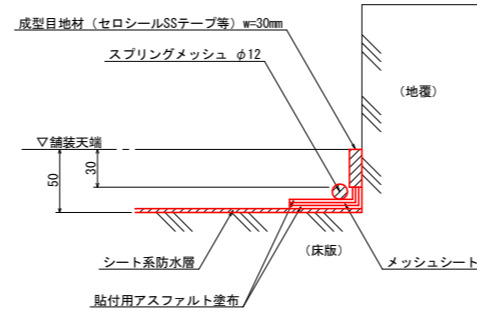
スラドレイン詳細 S=1:5 (参考)



シート防水標準構成図 S=1:3 (参考)



地覆部詳細構造 S=1:3 (参考)



舗装撤去工(コンクリート舗装) 舗装厚50~75mm(平均63mm)			
算式	数量	備考	
Co面積 A= 平面図よりCADで求積	32.73 m <sup>2</sup>	t=63mm(平均)	

舗装復旧工(アスファルト舗装) 舗装厚50~75mm(平均63mm)			
算式	数量	備考	
面積 A= 平面図よりCADで求積	28.65 m <sup>2</sup>	t=63mm(平均)	

橋面防水工 (シート系防水)			
算式	数量	備考	
面積 A= 平面図よりCADで求積	28.65 m <sup>2</sup>		

スラドレイン (削孔径: φ50)			
算式	数量	備考	
基数 (床版厚 400mm対応)	2 基		

床版排水工 (導水管: スプリングメッシュφ12mm)			
算式	数量	備考	
延長 L= 4.24 + 4.19	8.43 m		

導水工 (フレキブルチューブφ20mm: SUS304)			
算式	数量	備考	
延長 L= 2 x 0.30	0.60 m		

※ 図は参考であり、実施においては同等以上の性能を有する製品を使用すること。  
 ※ 床版厚 400mmに対応した製品を使用すること。

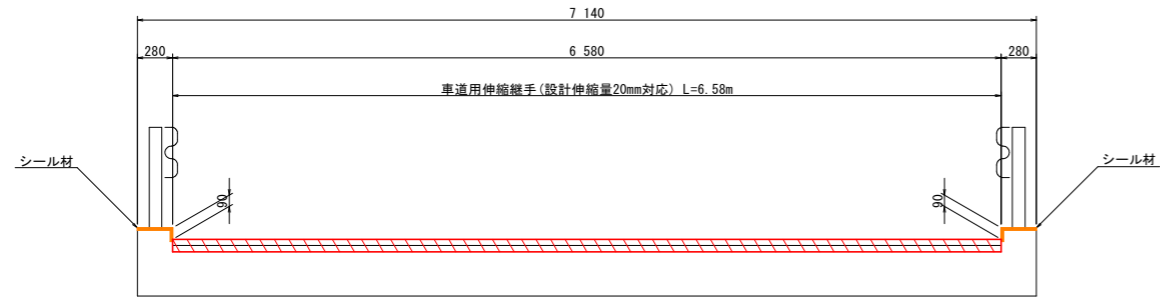
## 実施設計図面 (西谷橋)

工事名	R1那土 国道195号(西谷橋)地2橋 那賀・木頭西宇他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
施工箇所	那賀郡那賀町木頭西宇他		
図面名	舗装打換え・橋面防水工計画図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

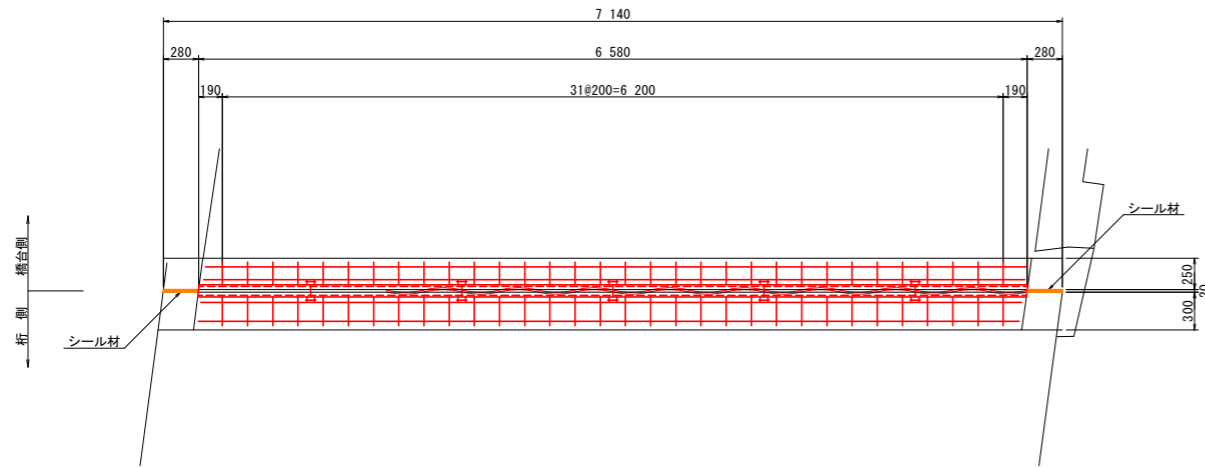
# 伸縮継手装置詳細図(参考)

(簡易鋼製継手)

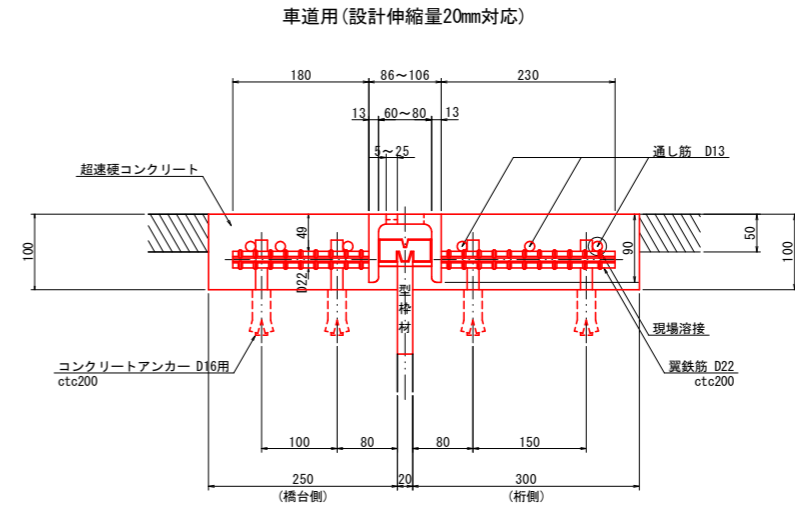
断面図 S=1:30



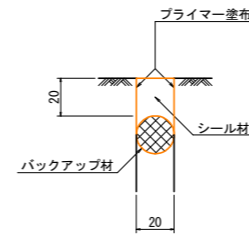
平面図 S=1:30



伸縮継手断面図 S=1:5



シール材充填図 S=1:2

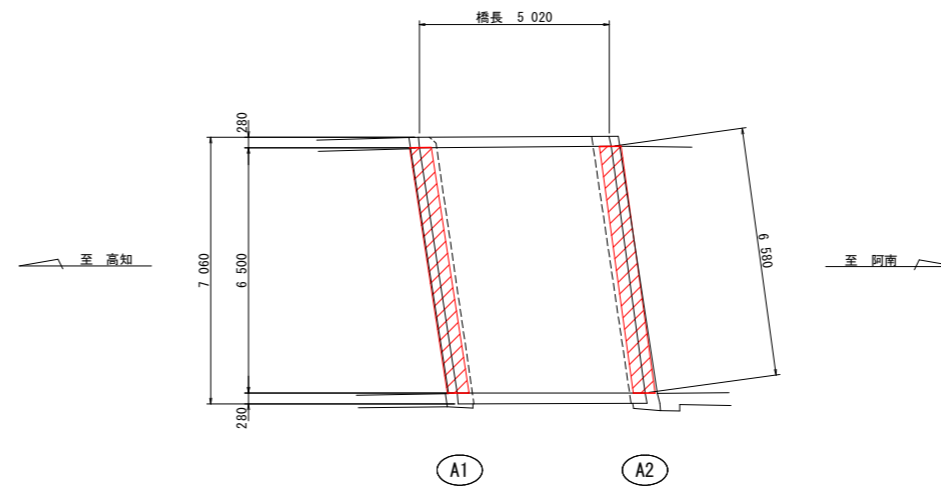


伸縮継手材料表

名称	材質	A1側	A2側	合計	備考
車道用伸縮継手 (簡易鋼製継手、設計伸縮量20mm対応)	SS400, SD345, 弾性シール材 樹脂系接着剤	6.580 m	6.580 m	13.160 m	車道用、通し筋を含む
シール材	シリコン系	0.34 l	0.34 l	0.68 リッター	地覆部
後打コンクリート	超速硬コンクリート	0.362 m <sup>3</sup>	0.362 m <sup>3</sup>	0.724 m <sup>3</sup>	
コンクリートアンカー D16用		128 本	128 本	256 本	

※) 最終的な伸縮継手長さは、現地測量後決定すること。

位置図



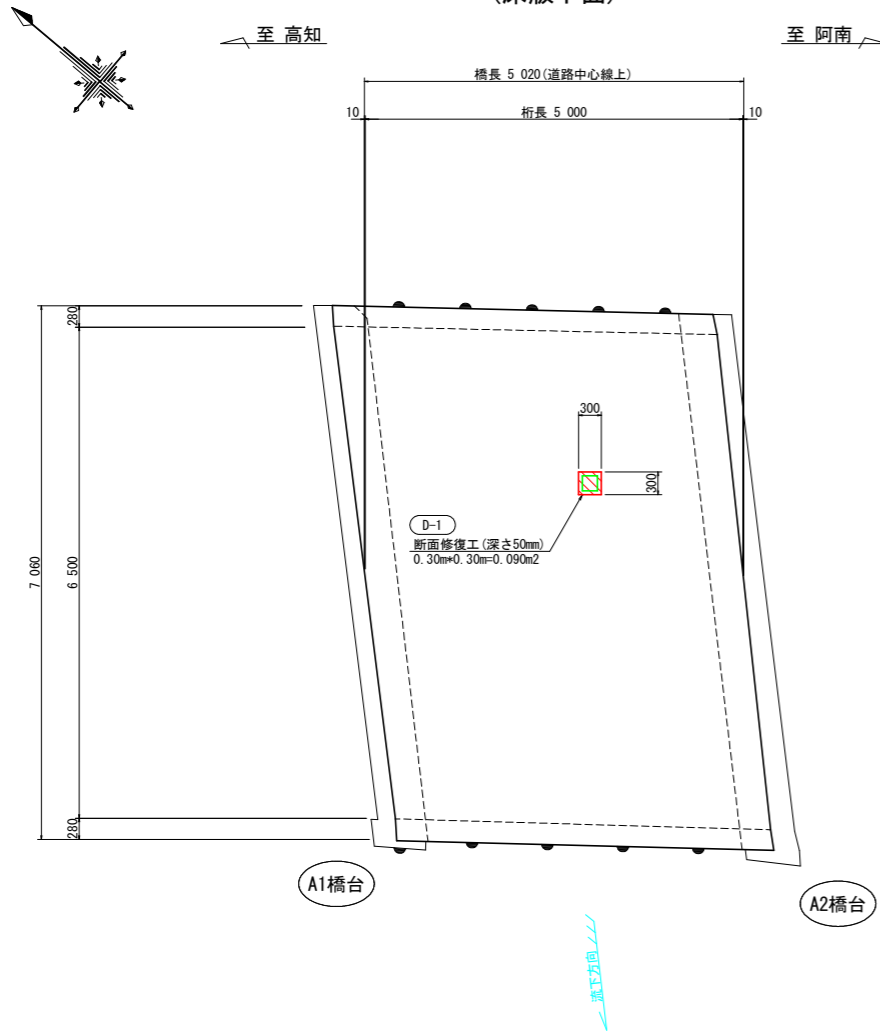
## 実施設計図面 (西谷橋)

工事名	R1那土 国道195号(西谷橋)地2橋 那賀・木頭西宇地 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西宇地		
図面名	伸縮継手装置詳細図(参考)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

# 床版下面補修計画図

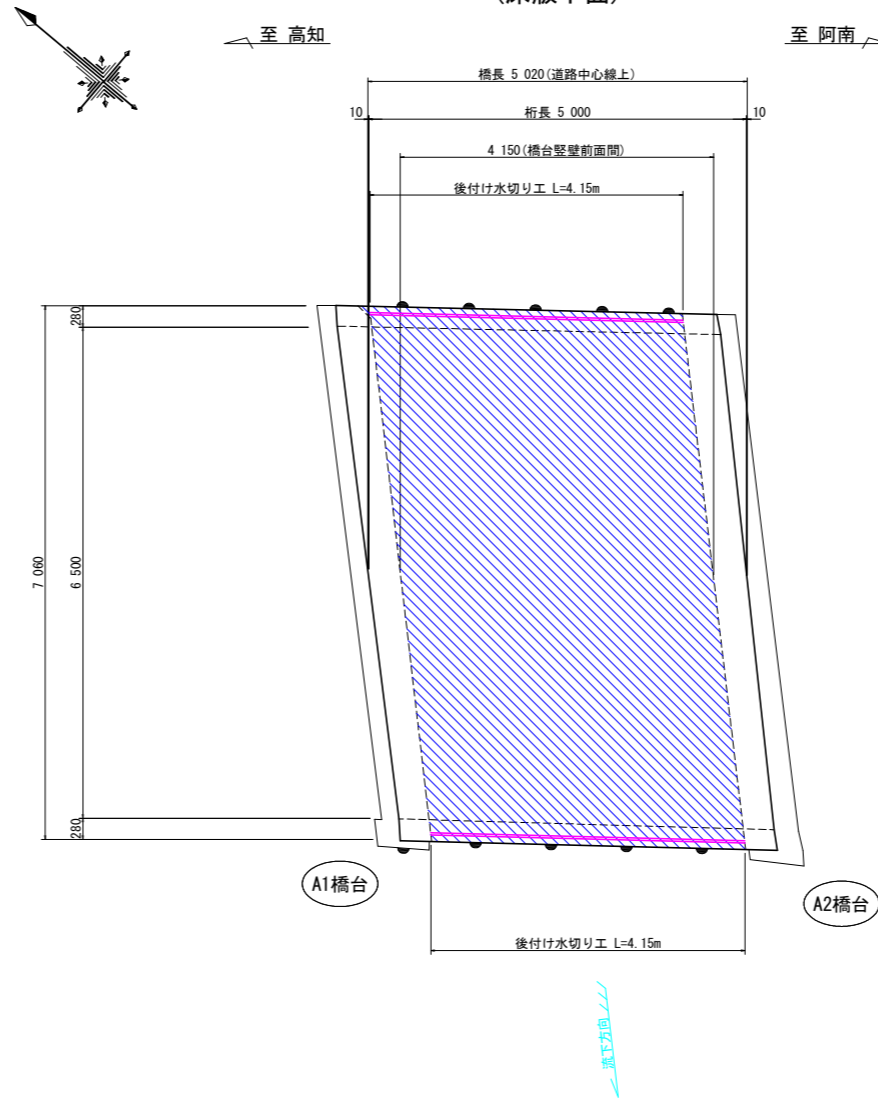
断面修復工詳細図 S=1:50

平面図  
(床版下面)

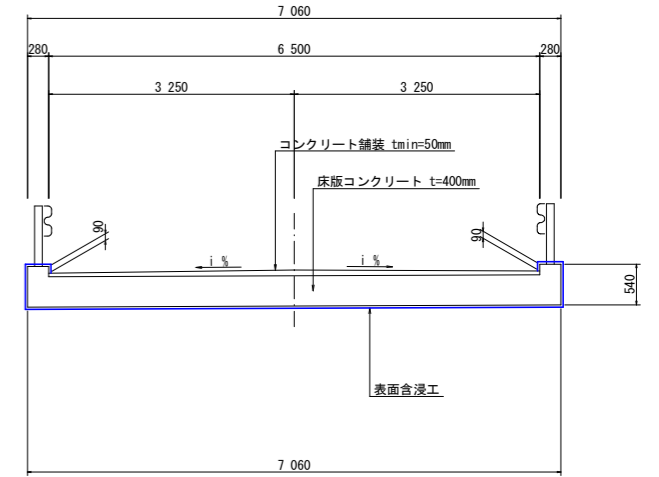


表面含浸工詳細図 S=1:50

平面図  
(床版下面)



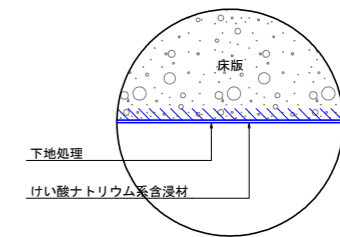
断面図



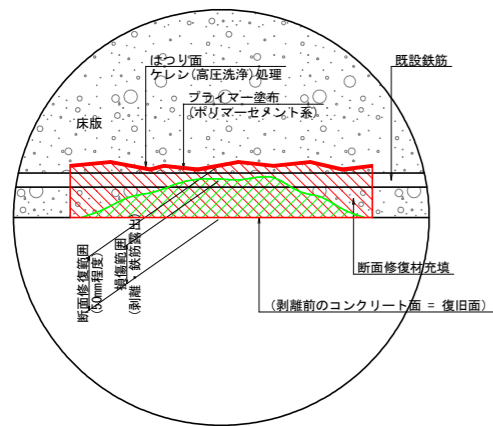
凡例

- 表面含浸工 (けい酸ナトリウム系含浸材)

表面含浸工詳細図



断面修復部標準図



凡例

- 断面修復工 (深さ 50mm程度)
- 損傷部

断面修復工 面積集計表

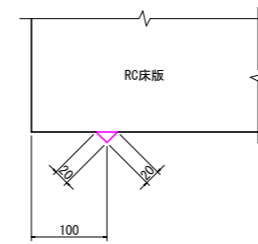
番号	横(m) * 縦(m)	面積(m <sup>2</sup> )	対象箇所	備考
D-1	0.30 * 0.30	0.090	床版下面	深さ50mm程度
面積合計		0.090 m <sup>2</sup>		

断面修復工 数量表

名称	算式	単位	数量	備考
断面修復材	V=0.090*0.050	m <sup>3</sup>	0.0045	深さ50mm程度
プライマー	A=0.090*0.050*0.30*4	m <sup>2</sup>	0.150	
防錆材	A=0.013*3.14*0.30	m <sup>2</sup>	0.012	

※) 防錆処理の面積は外観目視からの想定であり、実施にあたってはコンクリートはつり後に再計測する。

後付け水切り工 S=1:5



後付け水切り工 延長数量表

対象箇所	算式	延長(m)	備考
床版下面	l=2*4.150	8.30	
延長合計		8.30 m	

表面含浸工 面積計算表

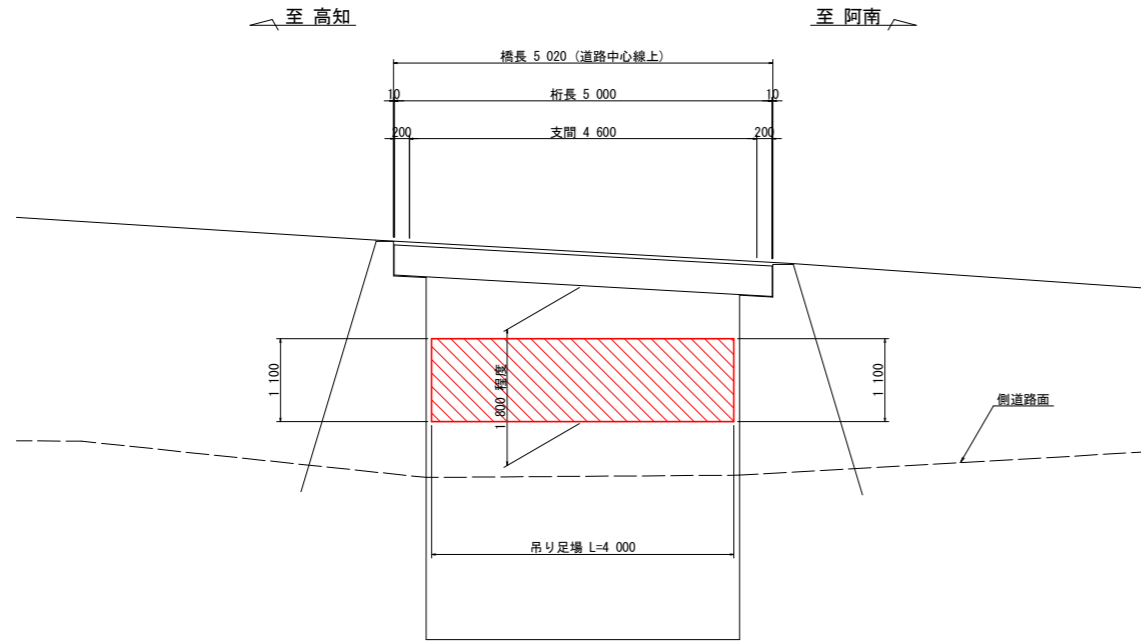
対象箇所	算式	面積(m <sup>2</sup> )	備考
床版下面	a=7.060*4.150	29.30	
床版側面・地覆	a=2*(0.540+0.280+0.090)*5.00	9.10	
面積合計		38.40 m <sup>2</sup>	

実施設計図面  
(西谷橋)

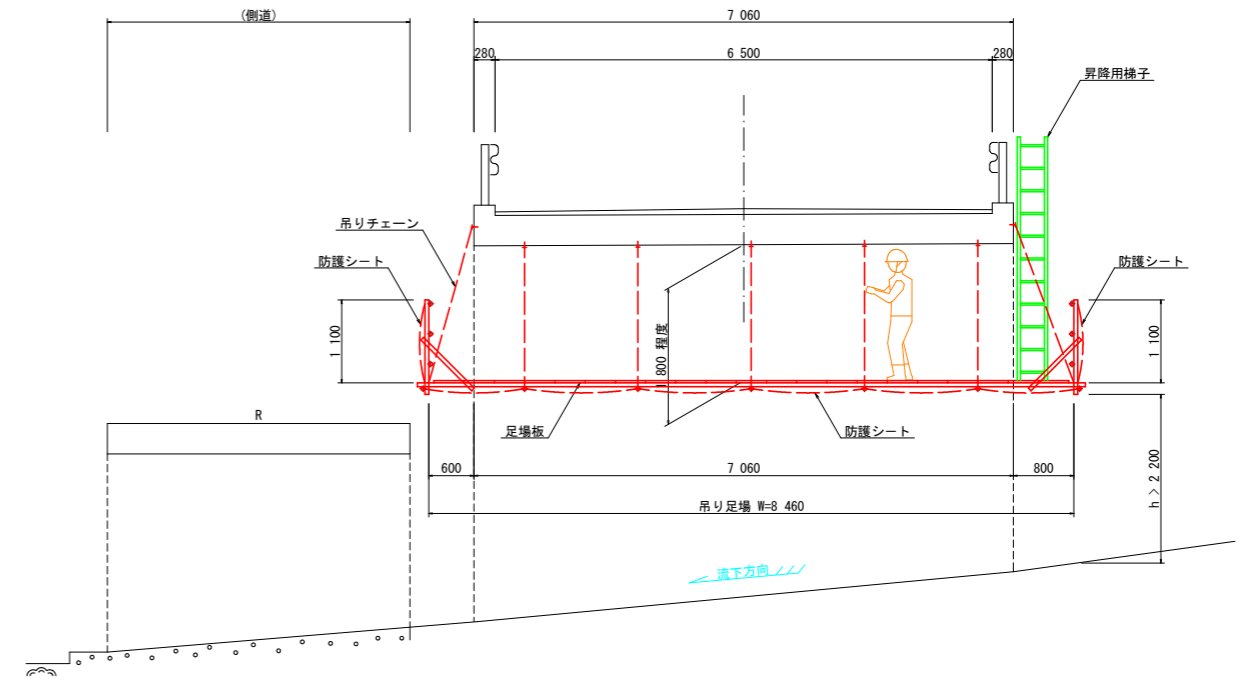
工事名	R1那土 国道195号(西谷橋)地2橋 那賀・木頭西宇他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
施工箇所	那賀郡那賀町木頭西宇他		
図面名	床版下面補修計画図		
縮尺	図示	図面番号	4 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

# 足場工計画図(参考)

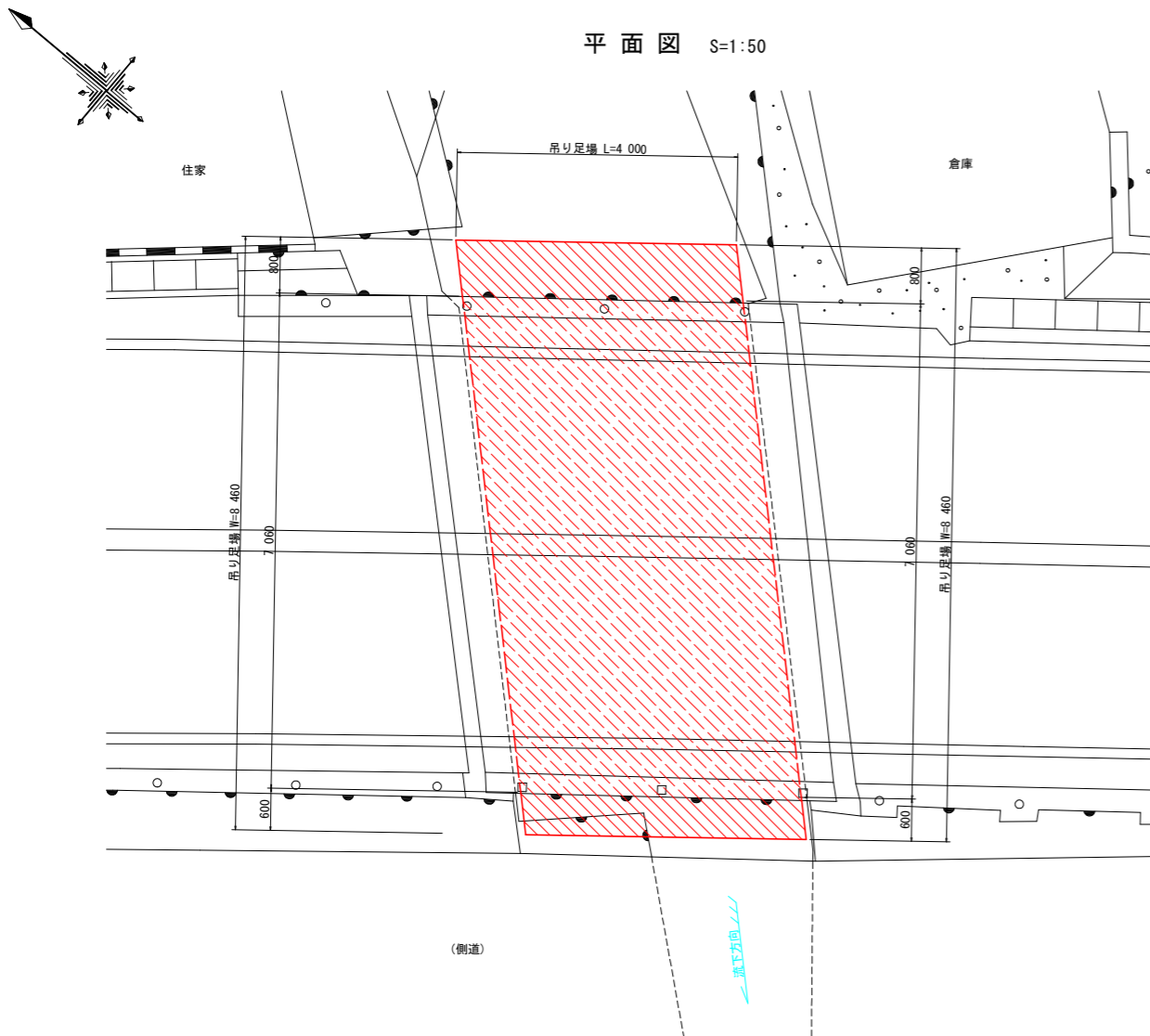
縦断面図 S=1:50



横断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



- ※) 吊り足場は、下流側の側道に支障しない範囲で設置する。
- ※) 吊り足場は、作業性を考慮して桁下から1.8m程度の空間を確保し、水平に設置する。

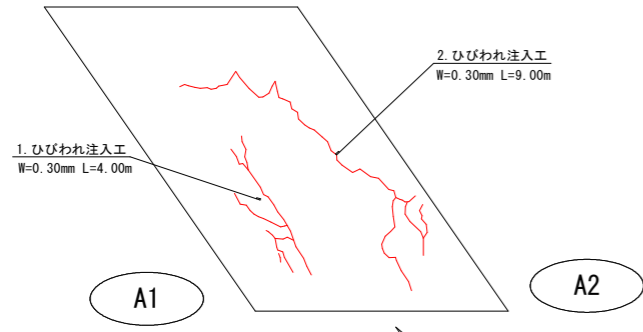
**実施設計図面**  
(西谷橋)

工事名	R1那土 国道195号(西谷橋)他2橋 那賀・木頭西宇他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
施工箇所	那賀郡那賀町木頭西宇他		
図面名	足場工計画図(参考)		
縮尺	図示	図面番号	5 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

# 中ノ谷橋 補修計画図

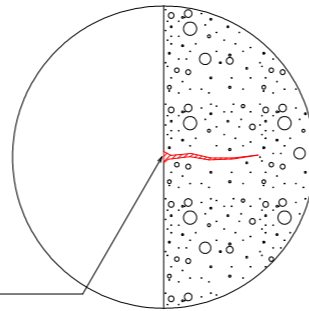
ひびわれ注入工詳細図 S=1:100

至 高松市 ← (床版下面) → 至 海陽町



損傷番号	幅 (mm) x 延長 (m)
床版下面	
1	0.30 x 4.00
2	0.30 x 9.00
小計	13.00 m

ひびわれ注入工断面図

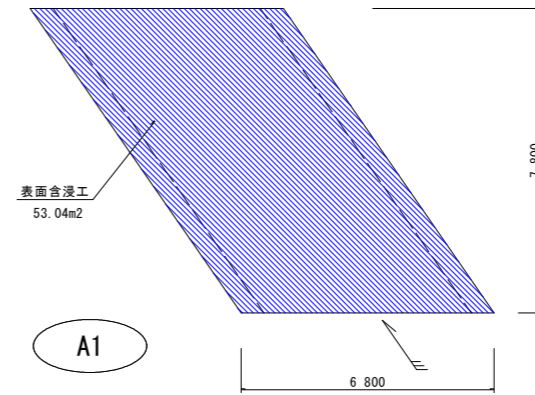


エポキシ樹脂注入

- ・シール材 (変成シリコン樹脂系 またはエポキシ樹脂系) : 0.281kg/m
- ・注入材 (エポキシ樹脂系) : 1.180kg/m<sup>3</sup>

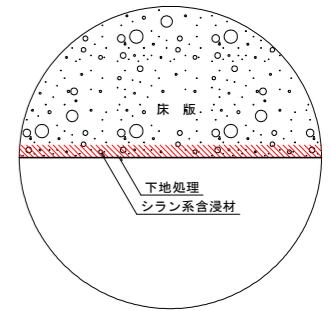
表面含浸工詳細図 S=1:100

至 高松市 ← (床版下面) → 至 海陽町

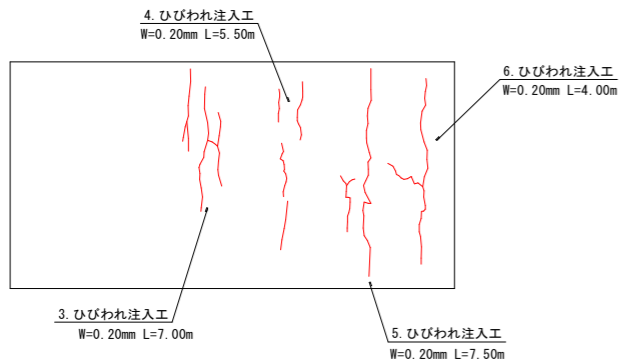


表面積	床版下面
	53.04 m <sup>2</sup>

表面含浸工断面図

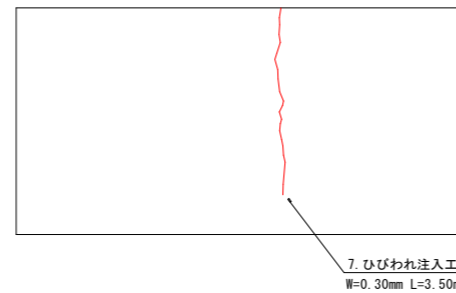


← 上流側 (A1橋台) 下流側 →



損傷番号	幅 (mm) x 延長 (m)
A1橋台	
3	0.20 x 7.00
4	0.20 x 5.50
5	0.20 x 7.50
6	0.20 x 4.00
小計	24.00 m

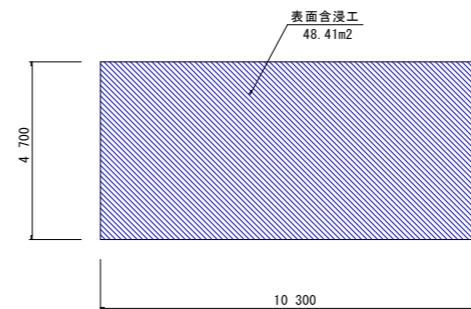
← 下流側 (A2橋台) 上流側 →



損傷番号	幅 (mm) x 延長 (m)
A2橋台	
7	0.30 x 3.50
小計	3.50 m

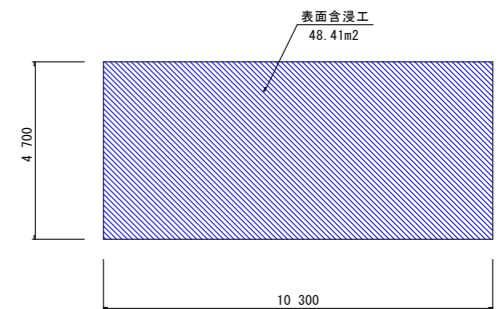
ひびわれ注入工 合計 ΣL= 40.50m

← 上流側 (A1橋台) 下流側 →



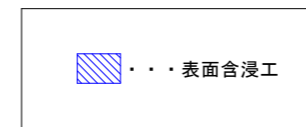
表面積	A1橋台
	48.41 m <sup>2</sup>

← 下流側 (A2橋台) 上流側 →



表面積	A2橋台
	48.41 m <sup>2</sup>

凡例



表面含浸工面積 合計 ΣA= 149.86 m<sup>2</sup>

- 注1) 本図において、個別に対策(注入工)を要する幅 0.2mm超のものを示している。
- 注2) 本図は参考であり、施工にあたってはその時点のひび割れ状況を事前確認し、工事数量などを調整すること。
- 注3) 注入深さは、平均200mmとする

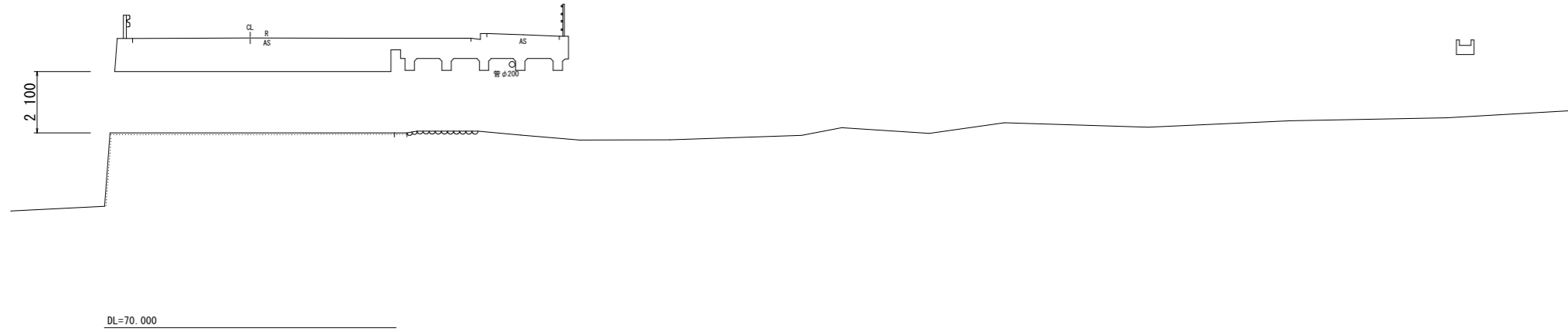
- 注) 表面含浸工は、「塩害」及び「中性化」に対して施工する。施工に際しては、使用含浸材の施工要領に準拠した施工を行うこと。

実施設計図面 (中ノ谷橋)

工事名	R1那土 国道195号(西谷橋)地2橋 那賀・木頭西宇他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西宇他		
図面名	中ノ谷橋 補修計画図		
縮尺	図示	図面番号	6 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

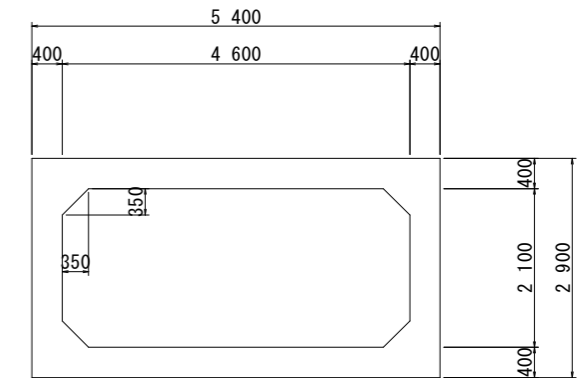
# 橋梁一般図

側面図 S=1/100

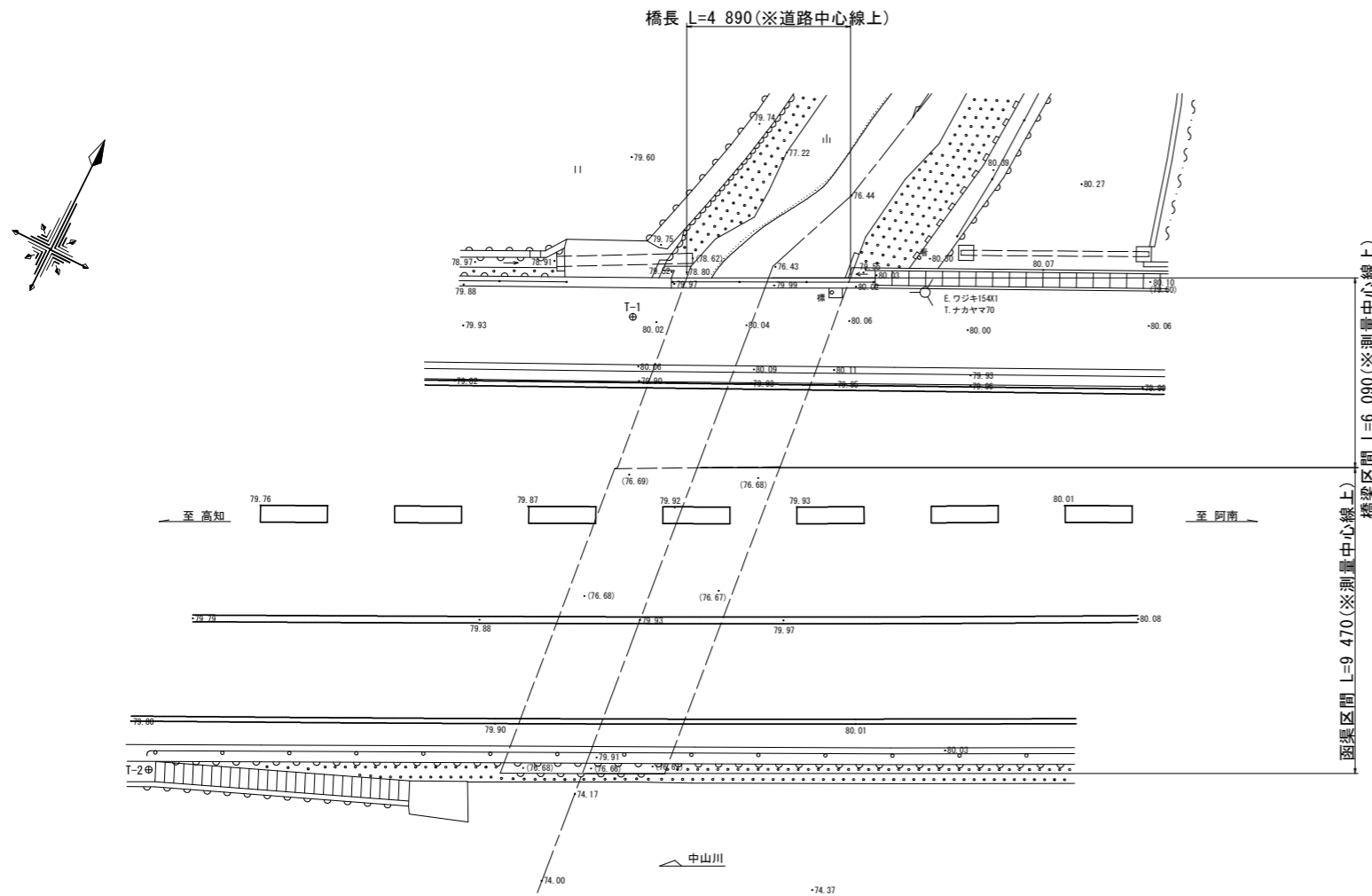


断面図 S=1/50

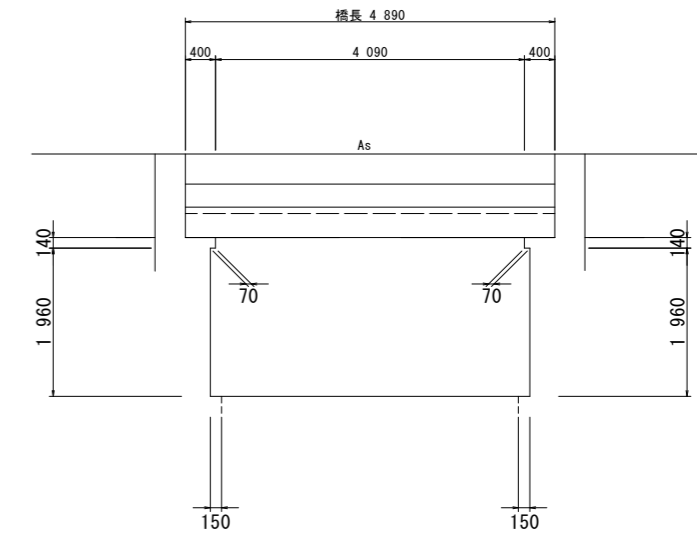
函渠工部



平面図 S=1/100



橋梁部



## 橋梁概要

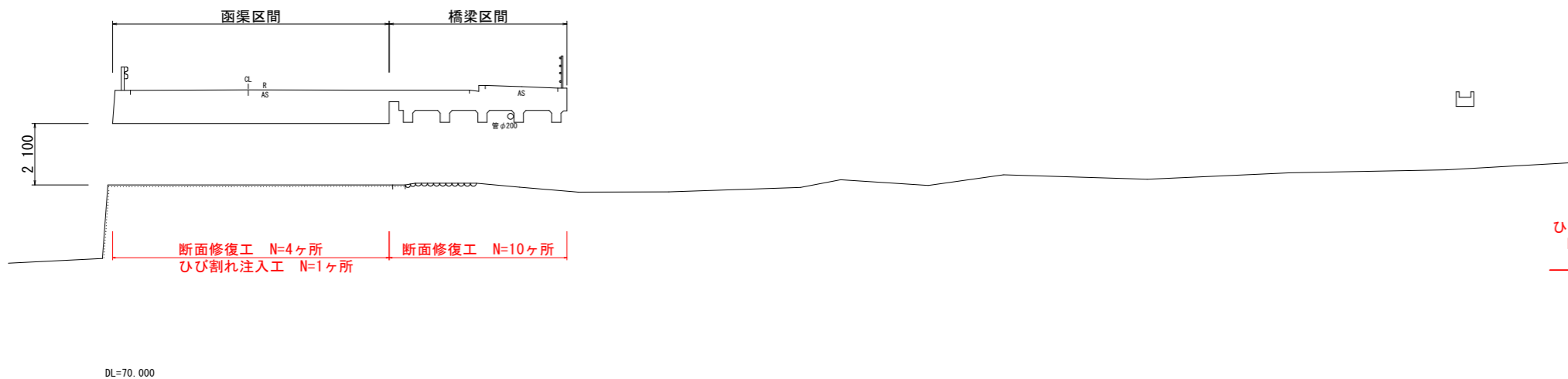
路線名	一般国道195号
橋格	-
橋長	5.900m
幅員	9.75m(新設) 6.05m(旧橋)
斜角	A1側、A2側 : 69° 30'
上部工	A1-A2径間 BOXカルバート(新設) RCT桁橋(旧橋)
施工年次	昭和28年(旧橋)
下部工	橋台 橋脚 重力式橋台(旧橋)
施工年次	昭和28年(旧橋)
交差物	真政谷
添架物	ガードレール

## 実施設計図面 (真政橋)

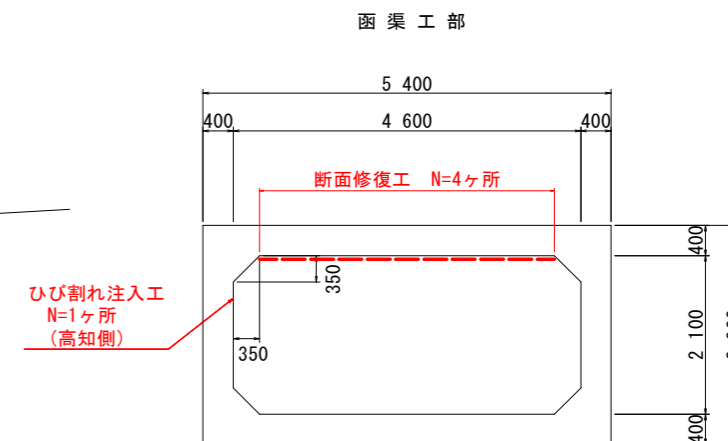
工事名	R1那土 国道195号(西谷橋)他2橋 那賀・木頭西宇他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道195号他
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西宇他
図面名	橋梁一般図
縮尺	図示 図面番号 7 / 11
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>

# 橋梁補修工全体計画図

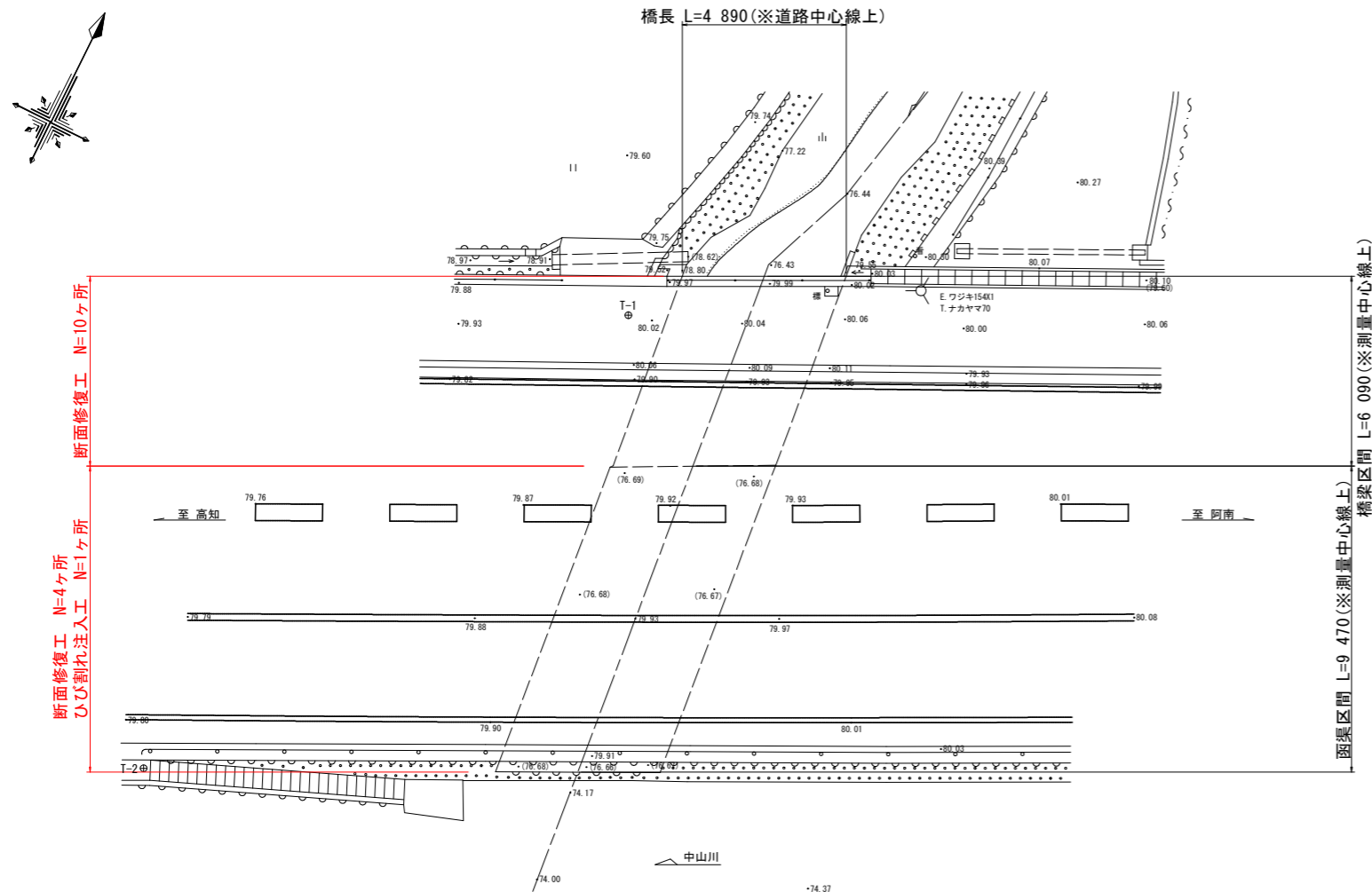
側面図 S=1/100



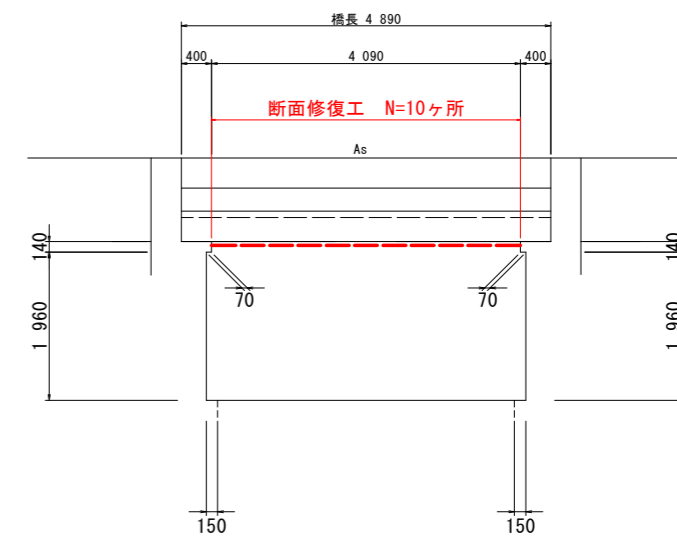
断面図 S=1/50



平面図 S=1/100



橋梁部



## 橋梁概要

路線名	一般国道195号
橋格	-
橋長	5.900m
幅員	9.75m(新設) 6.05m(旧橋)
斜角	A1側、A2側 : 69° 30'
上部工	A1-A2径間 BOXカルバート(新設) RCT桁橋(旧橋)
施工年次	昭和28年(旧橋)
下部工	橋台 橋脚 重力式橋台(旧橋)
施工年次	昭和28年(旧橋)
交差物	貞政谷
添架物	ガードレール

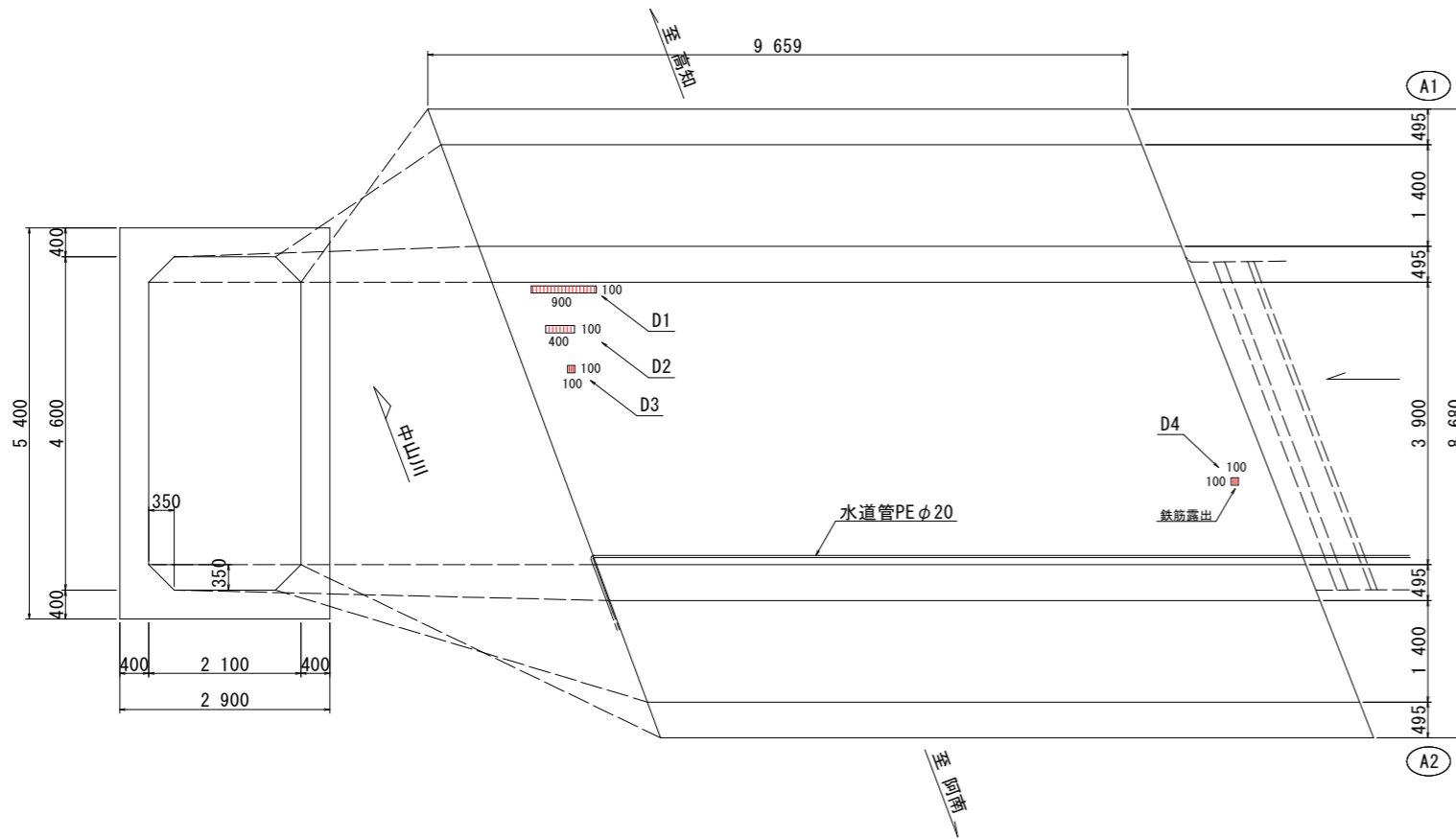
## 実施設計図面 (貞政橋)

工事名	R1那土 国道195号(西谷橋)地2橋 那賀・木頭西宇他 橋梁補修工事
路線名等	一般国道195号他
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西宇他
図面名	橋梁補修工全体計画図
縮尺	図示 図面番号 8 / 11
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>

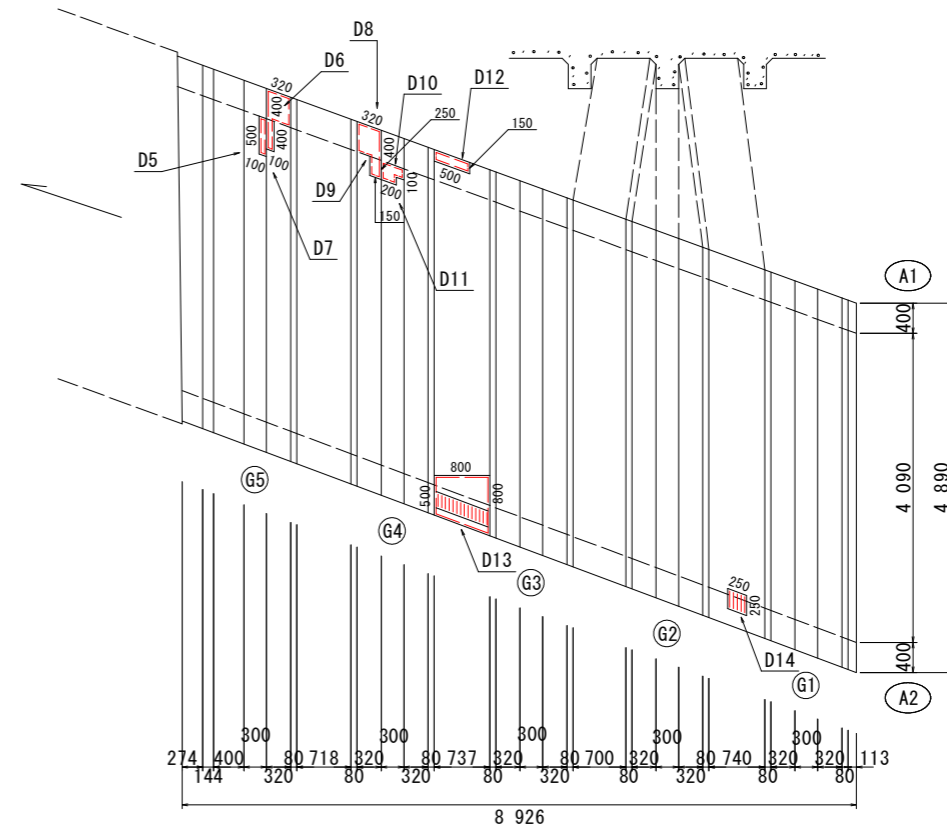


# 断面修復工詳細図

平面図 S=1/50  
【函渠部】



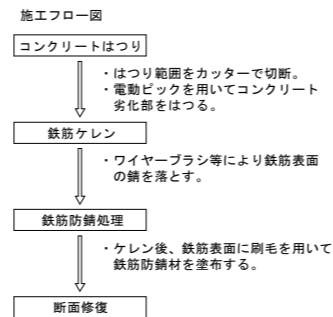
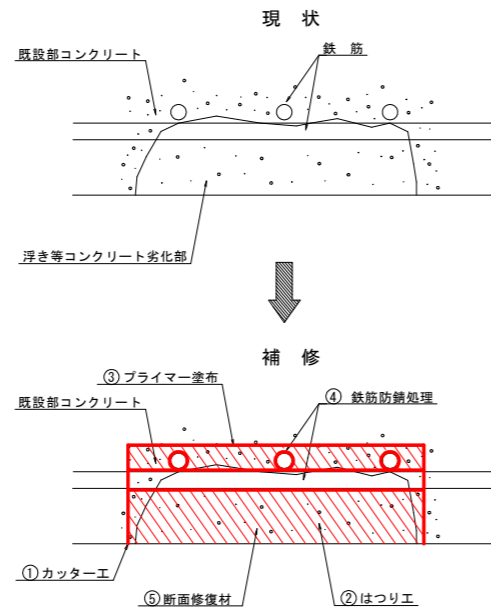
平面図 S=1/50  
【橋梁部】



損傷凡例

記号	損傷名称
〰〰〰	ひびわれ
〰〰〰	ひびわれ+遊離石灰
〰〰〰	浮き、剥離
〰〰〰	鉄筋露出
〰〰〰	遊離石灰
〰〰〰	表面劣化
〰〰〰	漏水
〰〰〰	豆板
〰〰〰	鋼材腐食
〰〰〰	その他

## 断面修復工 [左官工法]



- 1) コテ塗りは空隙を残さないように丁寧に施工する。
- 2) 1回の塗り厚さは断面修復材の仕様の塗り厚さに従い、何層かに分けて施工する。

断面修復工数量表

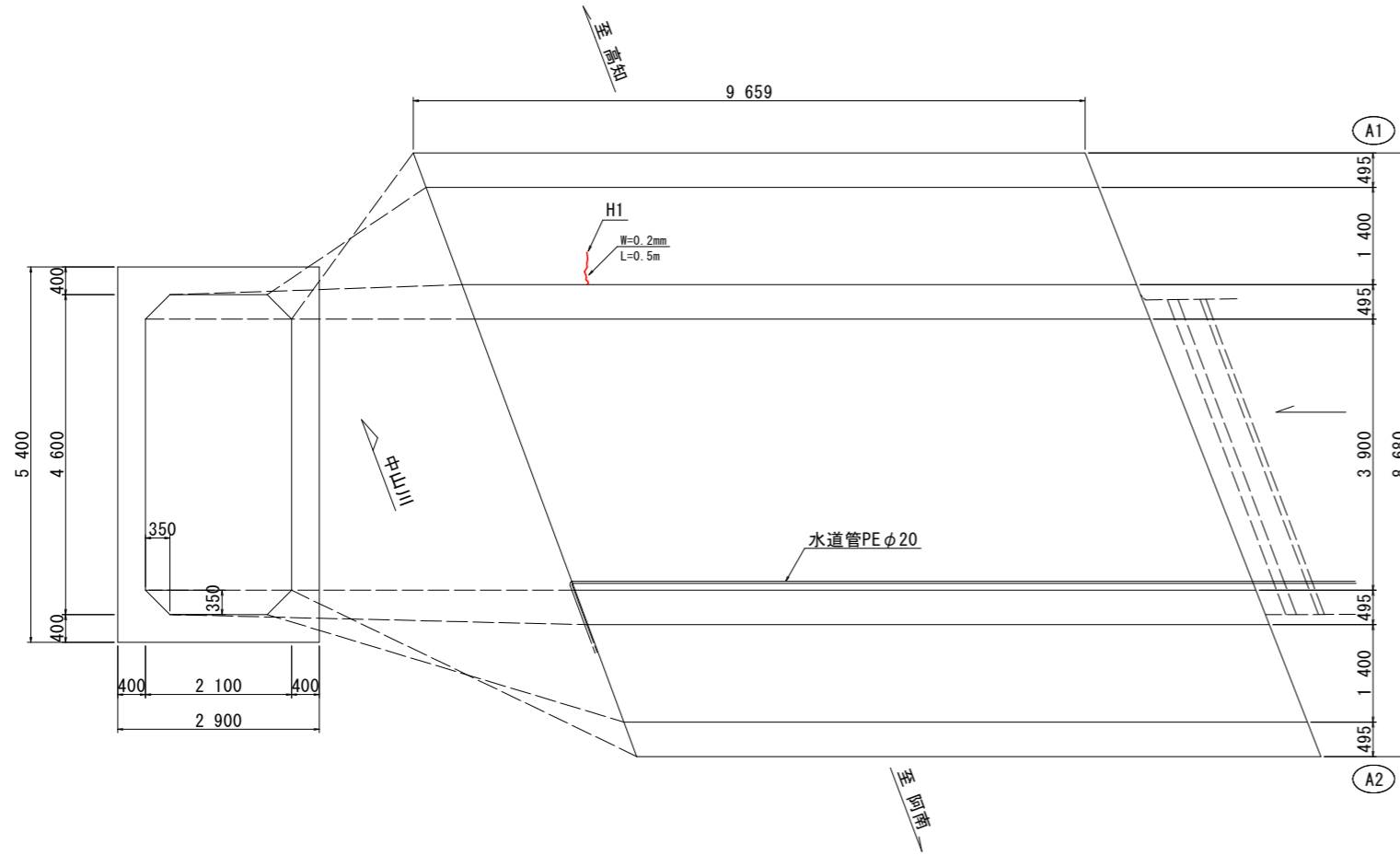
番号	幅(m)	長さ(m)	面積(m <sup>2</sup> )	厚さ(mm)	数量(m <sup>3</sup> )	備考
D-1	0.90	0.10	0.090	50	0.005	
D-2	0.40	0.10	0.040	50	0.002	
D-3	0.10	0.10	0.010	50	0.001	
D-4	0.10	0.10	0.010	50	0.001	
D-5	0.10	0.50	0.050	70	0.004	
D-6	0.32	0.40	0.128	70	0.009	
D-7	0.10	0.40	0.040	70	0.003	
D-8	0.32	0.40	0.128	70	0.009	
D-9	0.15	0.25	0.038	70	0.003	
D-10	0.30	0.15	0.045	70	0.003	
D-11	0.20	0.10	0.020	70	0.001	
D-12	0.50	0.15	0.075	70	0.005	
D-13	0.80	0.65	0.520	70	0.036	
D-14	0.25	0.25	0.063	70	0.004	
			合計		1.257	0.086

## 実施設計図面 (貞政橋)

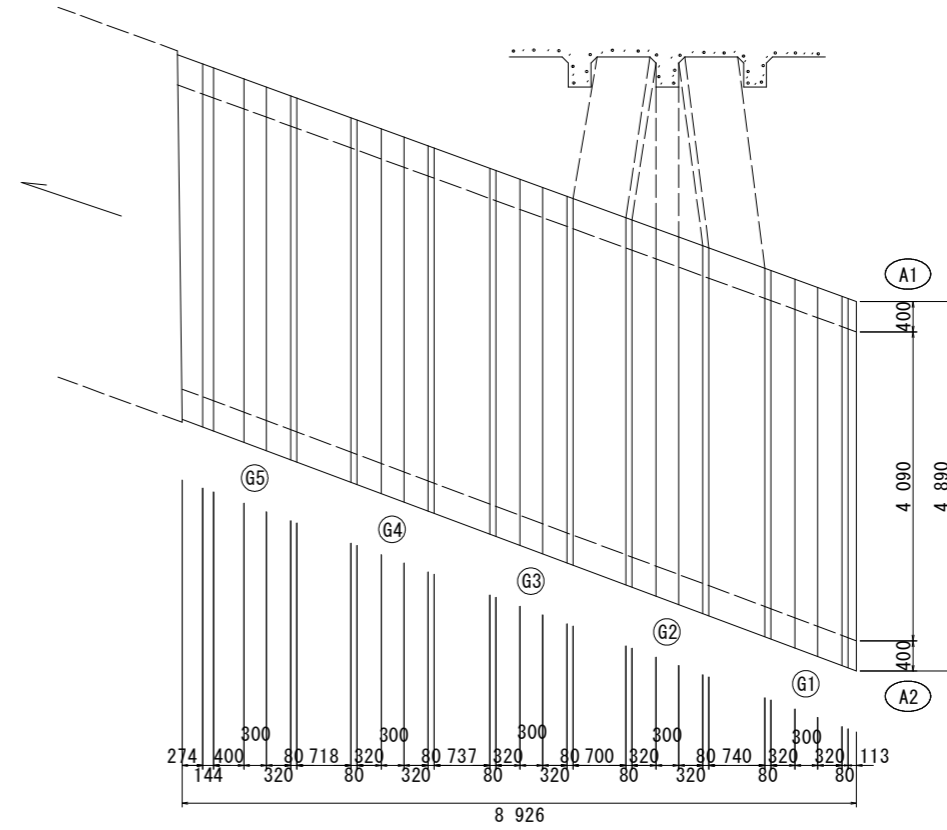
工事名	R1那土 国道195号(西谷橋)地2橋 那賀・木頭西宇他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西宇他		
図面名	断面修復工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	9 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

# ひび割れ注入工詳細図

平面図 S=1/50  
【函渠部】



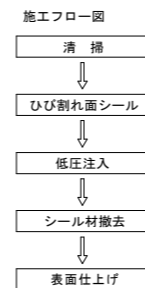
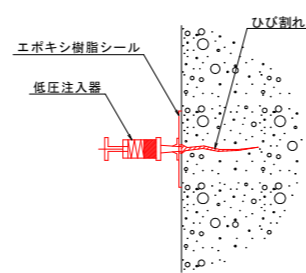
平面図 S=1/50  
【橋梁部】



損傷凡例

記号	損傷名称
—	ひびわれ
—	ひびわれ+遊離石灰
○	浮き、剥離
□	鉄筋露出
□	遊離石灰
□	表面劣化
□	漏水
□	豆板
□	鋼材腐食
□	その他

## ひび割れ注入工



ひび割れ注入工数量表

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
H-1	0.20	0.50	0.20	0.031	
合計		0.50		0.031	

※ 低圧注入器設置間隔 ③300(標準)

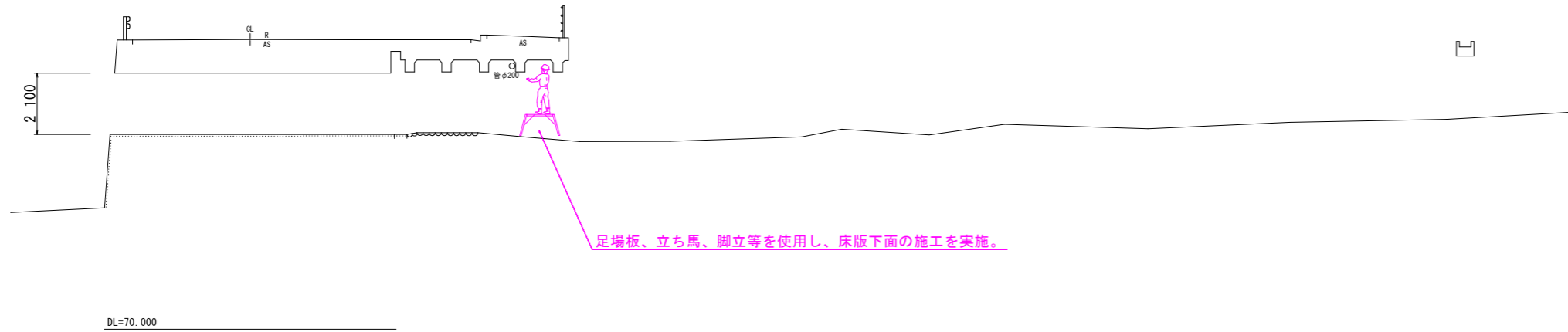
注入量の算出要領  
 $V=1200 \times b \times h \times L \times 1.30$   
 V: 注入量  
 1200: エポキシ樹脂系注入材 比重 (kg/m<sup>3</sup>)  
 b: ひび割れ幅  
 h: ひび割れ深さ  
 L: ひび割れ長さ  
 1.30: ロス率

## 実施設計図面 (真政橋)

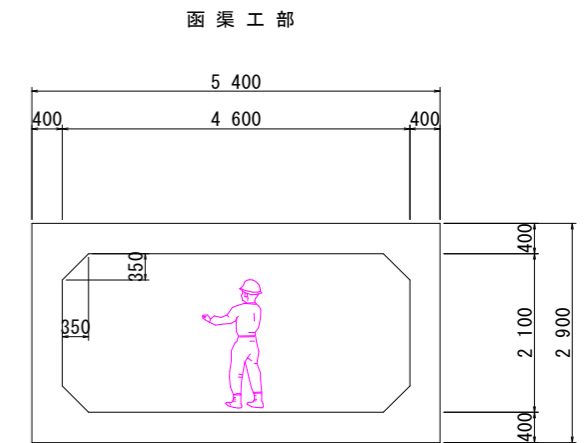
工事名	R1那土 国道195号(西谷橋)地2橋 那賀・木頭西宇他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西宇他		
図面名	ひび割れ注入工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	10 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

# 仮設工詳細図

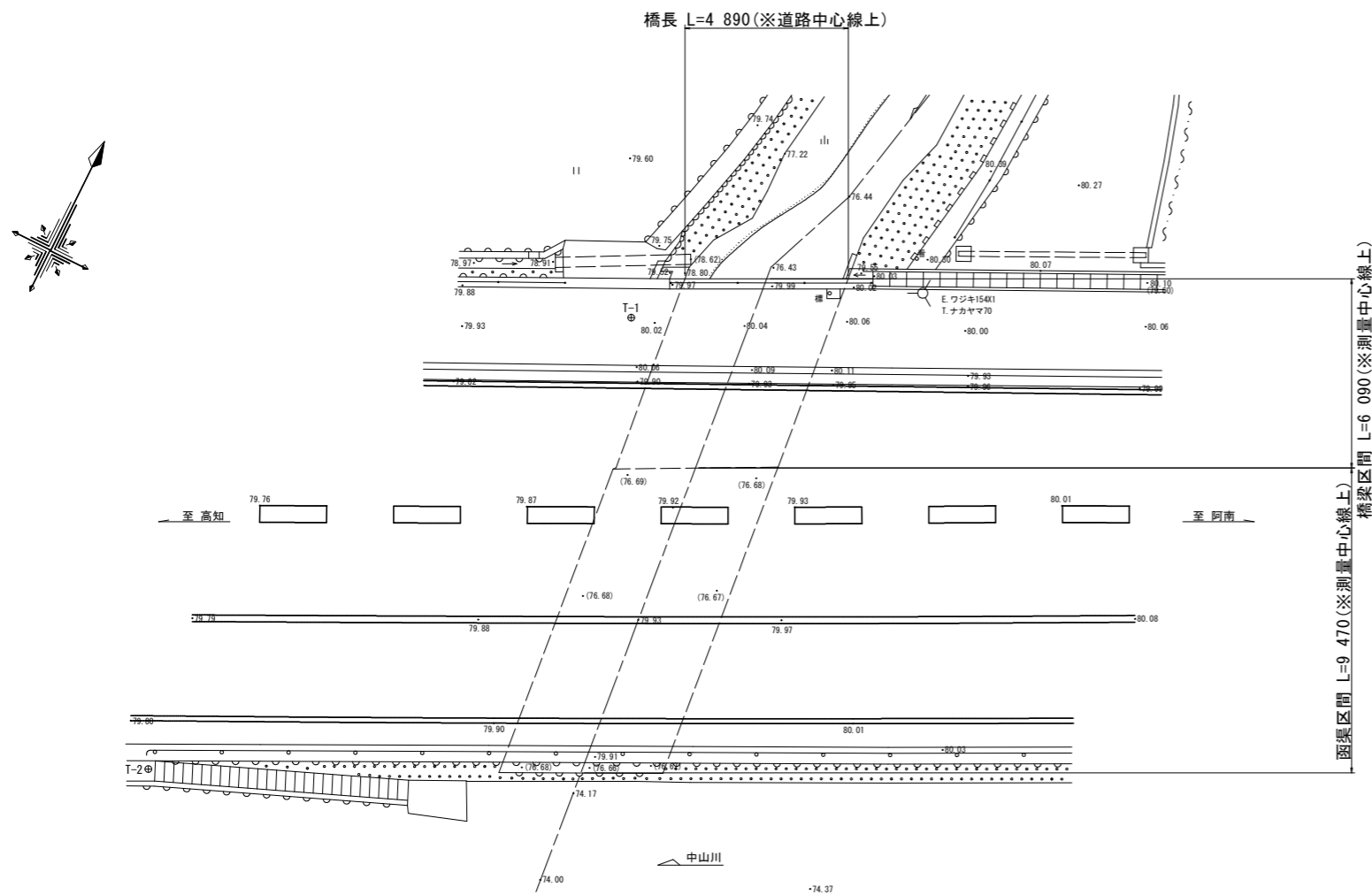
側面図 S=1/100



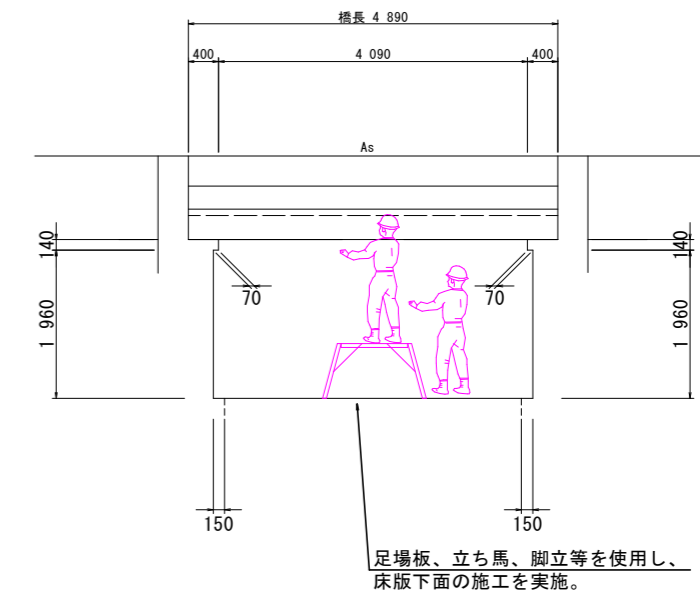
断面図 S=1/50



平面図 S=1/100



橋梁部



実施設計図面  
(真政橋)

工事名	R1那土 国道195号(西谷橋)地2橋 那賀・木頭西宇他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西宇他		
図面名	仮設工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	11 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		